

各 位

上場会社名	株式会社フルヤ金属
代表者	代表取締役 古屋 堯民
(コード番号)	7826)
問合せ先責任者	取締役総務部長 大石 一夫
(TEL)	03-5977-3377)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年8月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,680	2,178	2,090	1,241	171.58
今回修正予想(B)	15,300	1,300	1,280	590	81.54
増減額(B-A)	△2,380	△878	△810	△651	
増減率(%)	△13.5	△40.3	△38.8	△52.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年6月期第2四半期)	19,067	2,783	2,687	2,540	434.68

平成24年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,450	4,950	4,750	2,820	389.90
今回修正予想(B)	29,240	1,750	1,680	830	114.72
増減額(B-A)	△9,210	△3,200	△3,070	△1,990	
増減率(%)	△24.0	△64.6	△64.6	△70.6	
(ご参考)前期実績 (平成23年6月期)	35,172	4,448	4,184	3,615	570.89

上記予想は、資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

修正の理由

ギリシャ問題に端を発した欧州債務危機の波が各国に広がり、世界的な金融危機及びそれに伴う信用収縮が实体经济に深刻な影響を及ぼし、急激な需要減退が進行し、第2四半期に入り各分野での生産調整、設備投資の延期等が、一段と進行しております。

[電子]については、LED市場の将来的な市場の拡大は見込まれるものの、最終製品である液晶テレビ等の販売急減に伴い、LED需要も大きく落ち込み、LED基板用単結晶育成用ルツボの需要が減少いたしました。

[薄膜]については、タイの洪水により、HDD関連メーカーが多数被災したため、当社の受注も大幅に減少いたしました。

[センサー]においては、半導体市況の低迷によりセンサーの受注が大きく減少しております。

[その他]においては、景気先行不安への警戒から、化学・化製品プラント向けの貴金属化合物の受注が大幅にずれ込んでおります。

このような状況下で、当社では製造コスト及び経費の削減努力等をしておりますが、生産調整、設備投資の延期等が、それを上回るペースで進行しており、第2四半期累計期間の業績予想を上記のとおり修正いたします。

平成24年6月期の通期業績予想においては、世界同時不況への警戒の中で各分野での生産調整、設備投資の延期等が、しばらく続くものと見込んでおります。

[電子]については、LED市場の将来的な市場の拡大は見込むものの、最終製品である液晶テレビ等の販売急減により、LED需要が落ち込んでおり、LED基板用単結晶育成用ルツボの需要の多くは来期以降にずれ込むものと見込んでおります。

[薄膜]については、HDDメーカーの生産も回復から増産に転じるものと予想しておりますが、当社の通期ベースでの受注は大幅に減少するものと見込んでおります。

[その他]においては、景気先行不安への不透明感から、化学・化製品プラント向けの貴金属化合物の受注が大幅にずれ込むものと見込んでおります。

これらの理由により、平成24年6月期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

以 上